

平成25年度事業報告について

【新事業創出育成事業】

1. 新事業創出支援施設管理運営事業

以下に示すとおり、退去者に伴う新規入居者や入居期間延長者により、現時点では11室満室となっている。

(1) インキュベーションセンター新規入居

入居者募集（起業支援室 No.2、4）

〔募集部屋数〕 実験室タイプ1室 事務室タイプ1室 〔申込件数〕 3社

○入居者審査委員会 〔開催日〕 平成26年2月20日（木）

○入居開始 平成26年3月14日以降、2社入居

(2) インキュベーションセンター入居期間延長

①第1回入居期間延長申込

平成25年9月末に入居期間満了となる入居者の6企業の延長申込みに関する審査を実施。

〔入居期間延長申込者数〕 6企業

○入居者審査委員会

〔開催日〕 平成25年8月8日（木）

・入居期間延長者6企業の期間延長を決定。

②第2回入居期間延長申込

平成26年3月末に入居期間満了となる入居者の3企業の延長申込みに関する審査を実施。

〔入居期間延長申込者数〕 3企業

○入居者審査委員会

〔開催日〕 平成26年2月20日（木）

・入居期間延長者3企業の期間延長を決定。

(3) インキュベーションセンター退去

・平成25年5月31日 1社 退去（起業支援室2）

・平成25年11月30日 1社 退去（起業支援室4）

(4) インキュベーションセンター入居企業等成果発表会

入居・卒業企業の研究成果を広く周知するとともに、起業化・事業化を支援するため、「入居企業等成果発表会」を実施。

〔開催日〕 平成25年12月6日（金）

〔会場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

〔発表者〕 入居企業3社（入居期間1年以上）、卒業企業1社 ※プレゼンテーション

〔参加者〕 50名

- 〔内 容〕 ・入居・卒業企業のプレゼンテーションによる成果発表
・ポスターセッション

2. 債務保証事業等

(1) 債務保証の実績

① 平成25年度保証実績

0件

② 平成26年3月末現在の保証残高

保証残高は無し。

(2) 国等の科学技術振興に係る支援事業

経済産業省所管の「戦略的基盤技術高度化支援事業」に以下の2件が継続認定され、当財団が事業管理者となって平成25年度事業を遂行した。（3カ年事業、1件当たり約9,700万円の委託事業）

① 「材料科学的なアプローチによる厚板鍛造の高度シミュレーション技術の確立」

【共同研究体制】

- ・ 林精器製造株式会社（総括プロジェクトリーダー）
- ・ 国立大学法人茨城大学（副総括プロジェクトリーダー）
- ・ 福島県ハイテクプラザ
- ・ （公財）郡山地域テクノポリス推進機構（事業管理者）

② 「標準コンダクタンスエレメントを用いた基準微小ガス流量導入装置の開発」

【共同研究体制】

- ・ 独立行政法人産業技術総合研究所（総括プロジェクトリーダー）
- ・ 株式会社ピュアロンジャパン（副総括プロジェクトリーダー）
- ・ 株式会社アルバック（川下企業）
- ・ （公財）郡山地域テクノポリス推進機構（事業管理者）

(3) 福島県再生可能エネルギー次世代技術開発事業

県の標記公募事業のうち「テーマ：再生可能エネルギー利用次世代型農業施設開発」に、農業施設用ハイブリッド再生エネルギー利用システムの実用化計画として応募した結果、10月2日付で採択された。これにより平成25年度事業費補助金として50百万円の交付決定通知を受け事業を実施した。

- ・ （公財）郡山地域テクノポリス推進機構（幹事法人）
- ・ アライアンス形成会議コア企業四社（連携企業）
（株）内藤工業所、（株）スズキ製作所、エスケー電子工業（株）、（株）リゾーム

【技術振興事業】

1. 研修指導事業

(1) 産学連携技術者研修事業

① 産学連携製造技術人材育成事業（マイスターズ・カレッジ2013）

ものづくり中小企業の技術者等を対象に、企業・大学等高等教育機関、産業支援機関等の産学連携により、基盤的製造技術（金属加工等）の高度化を図る人材育成事業を実施。

平成25年度は、製造業従事者の段階に応じた3コースで実施。

○イノベーションマスターコース

- 〔研修期間〕 平成25年10月17日～12月3日
- 〔研修場所〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
日本大学工学部
- 〔講師〕 日本大学工学部教授等 7名
- 〔受講者数〕 19名（延べ受講者数81名）
- 〔内容〕 ものづくり製造技術等に関する多様なイノベーション技術、知識の習得
大学の持つ革新的な研究分野の紹介、技術シーズの提供等
座学と実技が密接にリンクした実践的な研修
- ・ 開講式及び基調講演
 - ・ 座学研修 9時間（1回1.5時間×6回）
 - ・ 実技研修 12時間（1回2時間×6回）
 - ・ 工場見学 1回
株式会社タンガロイ（いわき市好間工業団地）
 - ・ 閉講式及び交流会

○マシニングセンタ入門コース

- 〔研修期間〕 平成25年10月17日～12月3日
- 〔研修場所〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
福島県立テクノアカデミー郡山
- 〔講師〕 福島県立テクノアカデミー郡山 教務員 2名
(株)タンガロイ 外 民間企業 3名
- 〔受講者数〕 14名
- 〔内容〕 ・ マシニングセンタのプログラミング（3次元CAD/CAM）技術等を習得。
プログラミング 12時間（1回3時間×4回）
マシニング操作 4時間（1回2時間×2回）ほか
- ・ 開講式及び基調講演
 - ・ 工場見学 1回
株式会社タンガロイ（いわき市好間工業団地）
 - ・ 閉講式及び交流会
（イノベーションマスターコースと併せて実施）

OMOTコース

- 〔研修期間〕 平成26年2月18日（火）
〔研修場所〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
〔講師〕 芝浦工業大学大学院 工学マネジメント研究科
教授 平野 真 氏
〔受講者数〕 9名
〔内容〕 MOT 分野の基礎について集中講義を実施。

②ちびっ子マイスターズ・カレッジ

日本大学工学部と連携し小学生と保護者を対象に、身近な電気（エネルギー）のしくみや役割等について、講義や実習、親子工作、日大工学部施設見学等を通して理解を深め、「ものづくり」に対する興味をもってもらうことを目的に開催。

- 〔開催日〕 平成25年7月27日（土）
〔会場〕 日本大学工学部次世代工学技術研究センター
〔参加者数〕 20組 46名
〔講師等〕 日本大学工学部 電気電子工学科 教授 尾股 定夫 氏
日本大学工学部 電気電子工学科 工学博士 春田 峰雪 氏
日本大学工学部 電気電子工学科 医療工学研究室 院生・学生
〔内容〕 ・心拍センサーの模型工作
・電気（エネルギー）の基礎知識に関する講義
・日本大学工学部次世代工学研究センター内見学

③産学連携IT人材育成事業

日本大学工学部と連携し、ICT化社会において、柔軟、安全にICTを活用できる人材を育成するため、多様なニーズに対応したセミナーを開催した。今年度は小学生と保護者等を対象に、「スマートフォン・インターネット安全教室/プログラミングワークショップ/ワークショップ指導者向け」を実施した。

○第1回

- 〔開催期間〕 平成26年3月8日（土）
〔開催場所〕 日本大学工学部
〔受講者数〕 25組（小学生4年生以上の児童及びその保護者等）
〔研修内容〕 ・親子参加型のインターネット等安全教室
・子ども向けのプログラミング教室及びその指導者育成セミナー

○第2回

- 〔開催期間〕 平成26年3月15日（土）
〔開催場所〕 WiZ 国際情報工科大学校
〔受講者数〕 10組（小学生4年生以上の児童及びその保護者等）
〔内容〕 ・子ども向けのプログラミングワークショップ

(2) 科学技術交流事業

① 研究会開催事業

日本大学工学部、福島大学、奥羽大学及び福島県ハイテクプラザ等との連携による研究会を開催。（アライアンス研究開発推進部会との共催事業）

○再生可能エネルギー・環境共生推進研究会

(ア) 第1回再生可能エネルギー・環境共生推進研究会

〔開催日〕 平成25年7月11日（木）

〔会場〕 日本大学工学部 50周年記念館（ハットNE）

〔参加者数〕 120名

〔内容〕 メインテーマ『再生可能エネルギー・環境共生推進から見た今後の地域づくり』

担当コーディネーター 日本大学工学部土木工学科 教授 長林久夫 氏

・テーマⅠ「地域特性を生かした地中熱利用技術によるエネルギー自立への挑戦」

講師 日本大学工学部機械工学科 教授 柿崎隆夫 氏

・テーマⅡ「～第四の波～地域分散型の再生可能エネルギーを活用した地域エネルギー会社の創発に向けて」

講師 福島ミドリ安全株式会社 代表取締役社長 白石昇央 氏

・テーマⅢ「グリーンインフラの導入による水循環の適正化と持続可能な地域づくり」

講師 日本大学工学部土木工学科 准教授 中野和典 氏

(イ) 再生可能エネルギー・環境共生推進研究会 プレスト懇談会

〔開催日〕 平成25年10月8日（火）

〔会場〕 日本大学工学部 環境保全・共生共同研究センター

〔参加者数〕 9名

〔内容〕 第1回研究会参加者と各講師並びに各テーマに対し、研究開発等に向けた詳しい話し合い（プレスト）による懇談会を実施した。

(ウ) 第2回再生可能エネルギー・環境共生推進研究会 視察研修会

〔開催日〕 平成25年10月11日（金）

〔視察先〕 東北大学農学部川渡フィールドセンター内人工湿地実験施設（宮城県大崎市）

〔参加者数〕 15名（企業等12社）

〔内容〕 テーマ『水循環システムと地域づくりへの応用』

・担当アドバイザー 日本大学工学部土木工学科 教授 長林久夫 氏

・現地施設説明者 日本大学工学部土木工学科 准教授 中野和典 氏

○医療・福祉機器等関連新事業創出研究会

(ア) 第1回医療・福祉機器等関連新事業創出研究会

〔開催日〕 平成25年7月25日（木）

〔会場〕 ビックパレットふくしま 3階小会議室

〔参加者数〕 65名

〔内容〕 〔講演〕 「韓国 医療機器産業クラスターとの医療機器開発相互技術協力協定とその事業推進」

講師 (公財)郡山地域テクノポリス推進機構常務理事 熊田 正治 氏
〔講演〕「韓国の医療機器産業の動向と日韓共同医療機器開発プロジェクトの推進」

講師 (財)原州医療機器テクノバレー企業支援本部長 咸 基榮 氏
〔講演〕「開発に挑戦する医療機器と日本よりの協力ーその1ー」

講師 Hyun Medics 社長 除 玄培 氏
〔講演〕「開発に挑戦する医療機器と日本よりの協力ーその2ー」

講師 SEAWON Industrial Co., Ltd. 専務取締役 李 丙皎 氏
〔講演〕「医療機器・モノづくり精神と薬事法」

講師 合同会社 コンピューレ 代表 麻坂 美智子 氏

(イ) 第2回医療・福祉機器等関連新事業創出研究会

〔開催日〕 平成25年12月18日 (水)

〔会場〕 ビックパレットふくしま 3階中会議室

〔参加者数〕 50名

〔内容〕 〔講演〕「中小企業が取り組むべき医療機器と福島県医療機器開発・安全性評価センター(仮称)が目指すもの」

講師 (一財)ふくしま医療機器産業推進機構 理事長 菊地 眞 氏

○機能性材料・製造プロセス研究会

(ア) 第1回機能性材料・製造プロセス研究会

〔開催日〕 平成25年9月13日 (金)

〔会場〕 ビックパレットふくしま中会議室

〔参加者数〕 60名

〔内容〕 ・テーマ 「温泉とともに栄える“湯けむりエネルギー”を目指して」

・コーディネーター 日本大学工学部生命応用化学科 教授 西出 利一 氏

・講演 「地熱エネルギー利用のススメ」

講師 (独) 産業技術総合研究所 グループ長 安川 香澄 氏

・講演 「使おう地熱! 地中熱利用システム」

講師 (独) 産業技術総合研究所 主任研究員 内田 洋平 氏

②循環型社会形成事業

総合的な「低炭素・循環型社会形成」の実現を目指すため、食品関連事業者、再生利用事業者、農業者等のほか、学識経験者、試験研究機関及び行政機関等の産学官民の関係者との、食品循環資源のリサイクルのため情報交換や課題の検討、事業連携のためのニーズマッチングを進めるため、「福島県食品リサイクル研究会」(事務局: 県農林水産部環境保全課)に参画。

平成25年度食品リサイクル推進研究会

〔開催日〕 平成25年7月23日

〔会場〕 福島県農業総合センター多目的ホール

〔参加者〕 35名

〔内容〕 食品リサイクルの現状について

現状における課題及び解決策についての意見交換

③ IT高度利用推進事業

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会と連携し、ICTを活用して高い付加価値を創造できる高度なICT人材の育成を図るため、多様なニーズに対応した研修会等を開催。

(ア) 第1回ITセミナー 「マルチデバイス化のためのコンテンツ戦略」

〔開催日〕 平成25年5月18日(土)
〔会場〕 ビックパレットふくしま 4階 プレゼンテーションルーム
〔参加者数〕 16名
〔講師〕 Webデザイナー 長谷川 恭久 氏

(イ) 第2回ITセミナー 「Webクリエイターに足りない 本当のSEOスキル」

〔開催日〕 平成25年6月8日(土)
〔会場〕 郡山市民交流プラザ 大会議室1
〔参加者数〕 25名
〔講師〕 SEOエンジニア ボーディー有限会社 住 太陽 氏

(ウ) 第4回セミナー 「コンテンツを活かすためのUI設計」

〔開催日〕 平成25年7月20日(土)
〔会場〕 インキュベーションセンター 会議室
〔参加者数〕 15名
〔講師〕 Webデザイナー 長谷川 恭久 氏

(エ) 第5回セミナー 「手戻りや予算減を防ぐ コミュニケーション・テクニック」

〔開催日〕 平成25年9月7日(土)
〔会場〕 郡山市民交流プラザ 第1会議室
〔参加者数〕 15名
〔講師〕 WEBプロデューサー インターネットストラテジー 代表 角掛 健志 氏

④情報化人材育成・研究事業

産業界を中心に大学や研究機関・市町村と連携し、圏域IT企業の活性化や起業化、ICTの高度利用促進を図るための講習会等を開催。

(ア) 第3回セミナー「なぜこの店では、テレビが2倍の値段で売れるのか？」

〔開催日〕 平成25年7月4日(木)
〔会場〕 ビックパレットふくしま 3階 中会議室B
〔参加者数〕 44名
〔講師〕 (株)ヤマグチ 代表取締役 山口 勉 氏

⑤産学官交流会等開催事業

テクノポリス講演会・交流会の開催や関係機関による交流会・講演会への支援。

(ア) 第14回産・学・官連携フォーラム(日本大学工学部との共同主催)

日本大学工学部との共催により、産・学・官組織の協力体制を強化させるため、各関係機関との連携促進に向けてフォーラムを開催。

〔開催日〕 平成25年10月24日(木)

〔会 場〕 日本大学工学部50周年記念館（ハットNE）大講堂
〔参加者数〕 150名
〔内 容〕 スローガン「福島の更なる飛躍に向けて！」
～産総研と地域企業との連携を目指して～

○特別講演

- ・テーマ 「産総研と地域企業との連携の仕組み、事例」
- ・講 師 独立行政法人産業技術総合研究所
イノベーション推進本部産学連携推進部
産学・地域連携室長 尾崎 浩一 氏

○パネルディスカッション

【座 長】

日本大学工学部工学研究所次長 柿崎 隆夫 氏

【パネリスト】

独立行政法人産業技術総合研究所イノベーション推進本部
産学官連携推進部産学・地域連携室長 尾崎 浩一 氏
株式会社東邦銀行 法人営業部部長 齋藤 哲 氏
株式会社アリーナ 代表取締役社長 高山 慎也 氏

(イ) 「テクノポリス新春講演会」の開催

(郡山地域テクノポリス市町村協議会、郡山地域テクノポリス推進協議会、郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会と共催)

地域産業の活性化に関わる様々な分野の第一線で活躍する人物による講演会を開催。

〔開催日〕 平成26年1月21日(火)
〔会 場〕 ビッグパレットふくしま 3階中会議室
〔参加者数〕 110名
〔内 容〕 ・テーマ 「ものづくりニッポン 技術神話の再考」
～日本のものづくり産業への警鐘と提言～
・講 師 東京大学大学院経済学研究科
ものづくり経営研究センター特任研究員 吉川 良三 氏

(ウ) 須賀川市企業間ネットワークセミナー

須賀川市内外における企業間のネットワークの拡大を推進し、地域産業の活性化を図るため、情報発信や企業間連携による研究開発、取引拡大等のきっかけづくりとして企業間ネットワークセミナーを開催。(須賀川市主催、テクノポリス共催事業)

〔開催日〕 平成26年2月21日(金)
〔会 場〕 ホテル虎屋
〔内 容〕 【第1部】講演会
□講演(企業プレゼンテーション)
テーマ 須賀川市に立地しての事業展開と地元企業との連携について
日本工営株式会社福島事業所
執行役員福島事業所長 上田 修一 氏

テーマ 須賀川市での経営展開と新商品開発における連携事例
福島岩通株式会社 代表取締役社長 永松 良輔 氏
□平成 25 年度須賀川市認定工業製品の紹介（7 社 8 製品）

【第 2 部】交流会

〔参加者数〕 71 名（36 事業所）

（3）技術情報提供事業

①NUBIC（日本大学産官学連携知財センター）等との連携による技術情報提供事業

NUBIC 等との連携によるセミナーや定例相談会の開催等を通じて、大学の有する知的財産の企業への技術移転をはじめ、共同研究の促進など、産学連携活動の円滑化を支援。

〔内 容〕 産学連携・技術・知財に関する相談

〔期 間〕 平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで（月 1 回程度）

〔相談件数〕 16 件

〔出前セミナーIN 企業〕 2 件

2. 研究開発活動支援事業

（1）研究開発コーディネート事業

①技術コーディネーターの設置

産学官連携や企業間連携の推進を図るための技術コーディネーターを設置。

3. 研究開発活動助成事業

（1）F/S（フィージビリティ・スタディ）支援事業

研究開発及び新事業創出に係る実現可能性調査に要する経費の一部を助成。

（平成 25 年度助成決定件数 1 件）

〔助成事業者〕 株式会社メディファム（インキュベーションセンター入居企業）

〔テーマ〕 メカブを原料としたヒト用サプリメント開発のための調査及び分析

〔助成金額〕 100 万円

（2）研究開発助成事業

新技術又は新製品の開発、生産工程の合理化又は製品の高付加価値化、これらに類する技術の高度化に関する研究開発に要する経費の一部を助成。

○第 1 回公募期間 平成 25 年 4 月 1 日から 5 月 31 日（金）まで

○第 2 回公募期間 平成 25 年 10 月 1 日から 11 月 29 日（金）まで

（平成 25 年度助成決定件数 0 件）

（3）技術等審査委員会の開催

研究開発助成金申請及び地域技術起業化助成金申請に対し外部審査委員による審査会を開催。

○第 1 回 平成 25 年 7 月 29 日（月）【地域技術起業化助成金申請 1 件 結果：不採択】

【地域技術起業化推進事業】

1. ものづくり起業家育成・支援事業

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議を中核として、事業連携を推進。

(1) 企業連携（アライアンス）の促進

①会議・交流会等の開催

(ア) 役員会

- [開催日] 平成25年6月12日（水）
- [会場] ホテルハマツ
- [参加者] 9名
- [内容] ・24年度事業報告及び収支決算報告について
・25年度事業計画（案）及び予算（案）について
・運営会則の一部改正（案）について
・25年度役員（案）について

(イ) 総会・交流会

- [開催日] 平成25年6月12日（水）
- [会場] ホテルハマツ
- [参加者] 26名
- [内容] ・24年度事業報告及び収支決算報告について
・25年度事業計画（案）及び予算（案）について
・運営会則の一部改正（案）について
・25年度役員について

(ウ) 全体会・交流会

- [開催日] 平成26年2月10日（月）
- [会場] ビッグパレットふくしま
- [参加者] 27名
- [内容] 事例報告
テーマ：地中熱の農業利用への取り組みについて
説明者：インキュベーションマネージャー兼技術コーディネーター 宮越 稔
- アライアンスセミナー
テーマ：震災復興と福島大学の取り組み
講師：福島大学うつくしまふくしま未来支援センター長（学長特別補佐）
行政政策学類教授 中井 勝己 氏

(エ) コア企業会議

・第1回コア企業会議

- [開催日] 平成25年4月10日（水）
- [会場] ビッグパレットふくしま3Fテクノポリス会議室
- [参加者] 9名（コア企業4名、事務局5名）
- [内容] テクノ基金の国庫補助金返還に関する緊急要望に関する経過について ほか

・ **第2回コア企業会議**

〔開催日〕 平成25年5月8日（水）
〔会場〕 ビッグパレットふくしま3Fテクノポリス会議室
〔参加者〕 8名（コア企業3名、事務局5名）
〔内容〕 役員会、総会及び交流会に関すること ほか

・ **第3回コア企業会議**

〔開催日〕 平成25年7月9日（火）
〔会場〕 ビッグパレットふくしま3Fテクノポリス会議室
〔参加者〕 9名（コア企業4名、事務局5名）
〔内容〕 県再生可能エネルギー次世代技術開発事業に関すること ほか

・ **第4回コア企業会議**

〔開催日〕 平成25年8月7日（水）
〔会場〕 ビッグパレットふくしま3Fテクノポリス会議室
〔参加者〕 9名（コア企業4名、事務局5名）
〔内容〕 韓国江原道医療機器展示会GME S2013への参加に関すること ほか

・ **第5回コア企業会議**

〔開催日〕 平成25年9月13日（金）
〔会場〕 ビッグパレットふくしま3Fテクノポリス会議室
〔参加者〕 9名（コア企業4名、事務局5名）
〔内容〕 マイスターズ・カレッジ2013に関すること ほか

・ **第6回コア企業会議**

〔開催日〕 平成25年10月21日（月）
〔会場〕 ビッグパレットふくしま3Fテクノポリス会議室
〔参加者〕 9名（コア企業4名、事務局5名）
〔内容〕 第14回産学官連携フォーラム開催に関すること ほか

・ **第7回コア企業会議**

〔開催日〕 平成25年11月20日（水）
〔会場〕 ビッグパレットふくしま3Fテクノポリス会議室
〔参加者〕 6名（コア企業2名、事務局4名）
〔内容〕 インキュベーションセンター入居企業等成果発表会について ほか

・ **第8回コア企業会議**

〔開催日〕 平成25年12月19日（木）
〔会場〕 ビッグパレットふくしま3Fテクノポリス会議室
〔参加者〕 9名（コア企業4名、事務局5名）
〔内容〕 テクノポリス新春講演会について ほか

・ **第9回コア企業会議**

〔開催日〕 平成26年1月21日（火）
〔会場〕 ビッグパレットふくしま3Fテクノポリス会議室
〔参加者〕 8名（コア企業3名、事務局5名）
〔内容〕 全体会、交流会の開催に関すること ほか

・第10回コア企業会議

- 〔開催日〕 平成26年2月10日（月）
- 〔会場〕 ビッグパレットふくしま3Fテクノポリス会議
- 〔参加者〕 8名（コア企業3名、事務局5名）
- 〔内容〕 県再生可能エネルギー次世代技術開発事業に関すること ほか

・第11回コア企業会議

- 〔開催日〕 平成26年3月12日（水）
- 〔会場〕 ビッグパレットふくしま3Fテクノポリス会議
- 〔参加者〕 10名（コア企業4名、事務局6名）
- 〔内容〕 ハイブリット温室（補助事業）事業計画に関すること ほか

（オ）会津産業ネットワークフォーラム（ANF）との連携・交流

○ハイブリット型再生可能エネルギー最新事例紹介講座への参加

- 〔開催日〕 平成25年8月9日（金）
- 〔会場〕 会津アピオスペース2F会議室
- 〔主催〕 会津地域雇用創造推進協議会
- 〔参加者〕 20名
- 〔講師〕 ものづくりイノベーションセンターサブマネージャー 池浦清一 氏
- 〔内容〕 再生可能エネルギーの実証研究として農業用施設ハイブリット型温室への取り組みについて、会津地域の企業の方々へ最新事例紹介を行った。

○会津地域ものづくり企業展示交流会への出展参加

- 〔開催日〕 平成25年10月2日（水）
- 〔会場〕 会津アピオスペース
- 〔主催〕 頑張るものづくり企業支援事業実行委員会
- 〔参加者〕 企業45社（うちアライアンス会員企業2社）
- 〔内容〕 ものづくり企業展示交流会への自社製品の展示、技術プレゼン会（6社）ほか

○NUBIC（日本大学産官学連携知財センター）の企業出前セミナーの開催

第1回

- 〔開催日〕 平成25年11月22日（金）
- 〔場所〕 ㈱岡野エレクトロニクス（喜多方市）

第2回

- 〔開催日〕 平成26年2月7日（金）
- 〔場所〕 アサヒ金属㈱（会津若松市）

（カ）日本大学工学部企業見学会への協力

学生にもものづくりに関わる職場を見学させ、技術者として仕事をする意義を理解させるとともに、地元企業と大学との連携を深めることを目的に開催。

- 【第1回】 〔開催日〕 平成25年10月4日（金）
- 〔受入先〕 カンタツ㈱、林精器製造㈱、山本電気㈱
- 〔参加者〕 235名（機械工学科1年生）
- 〔内容〕 企業概要説明、工場内見学、質疑応答

- 【第 2 回】** 〔開催日〕 平成25年11月11日（月）
 〔受入先〕 株小松製作所郡山工場（西部第二工業団地）
 〔参加者〕 17名（機械工学科3年以上及び大学院生）
 〔内 容〕 企業概要説明、工場内見学、質疑応答

（2）研究会活動支援事業

①アドホック研究会

（ア）アドホック研究会

- 4月 定期総会
- 5月 例会：平成25年度事業計画（月別テーマ）について
- 6月 例会、情報交換会
- 7月 講演
 テーマ「震災復興に向けた福島県経済の現状と課題について」
 講師 一般財団法人とうほう地域総合研究所研究員 和田 賢一 氏
- 8月 講演
 テーマ「次々と成功事例を生み出す新製品開発の秘訣」
 講師 東北大学大学院工学研究科 教授 堀切川 一男 氏
 （福島県地域産業復興支援アドバイザー）
- 9月 研究（産業交流会：マッチング）
 ジャパン・バイオ・テクノロジー(株) 代表取締役 實石 忠男 氏
 会員企業訪問 日ノ出工機(株)
- 10月 「第2回再生可能エネルギー・環境共生推進研究会」視察研修（宮城県大崎市）への参加
- 11月 海外視察研修（フィリピン）※須賀川方部合同
 月電Philippines Electronics Inc、JITSUISHI GROUP OF COMPANIES ほか
- 12月 企業視察 神田産業(株)新設工場（横山工業団地内）※須賀川方部合同
- 1月 テクノポリス新春講演会への参加、情報交換会
- 2月 郡山市ものづくりマッチング交流会への参加
- 3月 例会：平成26年度定期総会等について、情報交換会

（イ）須賀川方部アドホック研究会

- 4月 定期総会
- 5月 平成25年度事業計画（月別テーマ）について
- 6月 3Dプリンタに関する勉強会（講師 有ばすわーど 代表取締役 水上哲夫 氏）
- 7月 震災時における食料供給体制の取り組みと非常食、介護食及び流動食各メーカーの試食会（講師 紅食(株) 代表取締役 栗原敏郎 氏）
- 8月 企業視察 福島岩通(株)須賀川工場「結棟」（須賀川市前田川）
- 9月 国内視察研修
 産業史料館ほか（燕市）、E Vhonda(株)（長岡市）

- 10月 企業視察 奥地建産(株)福島工場 (須賀川市虹の台)
- 11月 海外視察研修 (フィリピン)
月電 Philippines Electronics Inc、JITSUSHI GROUP OF COMPANIES ほか
- 12月 企業視察 神田産業(株)新設工場 (横山工業団地内)
- 1月 海外視察研修報告会
- 2月 3Dプリンタ研修会 (セミナー・製作稼働状況見学)
テーマ 3Dプリンタの原理と今後の可能性について
講師 日本大学工学部情報工学科 准教授 小林義和 氏
- 3月 稲盛和夫氏公開フォーラム講演会収録DVD聴講会、次年度事業計画意見交換会

(3) 「こおりやま全市元気応援産業フェア2013～夢商い～」の共催

- 〔開催日〕 平成25年11月15日(金)～16日(土)
- 〔会場〕 郡山総合体育館
- 〔入場者数〕 9,471名
- 〔出展者数〕 100企業・団体
- 〔内容〕 昨年開催の「こおりやまユニバーサルデザインものづくりフェア2012」と「ビジネスフェア 夢商い」の特長を生かし、企画を一本化し開催。地場企業・製品等の広報を通して市民交流を図り、出展企業の取引拡大等の支援を行った。

2. 「地域間産業交流支援 (RIA: Regional Industry Alliance program) 事業」の展開

①事業の概要

〔事業内容〕 『郡山地域テクノポリス圏域及び近隣産業集積地の医療・福祉機器開発に関連する中小企業群』と『韓国 江原道 原州市及び周辺地域の医療機器産業クラスター』を中心に2010年以来展開されてきたJETROのRIT支援事業での産業交流基盤と信頼関係を継承し、地域間・企業間の相互国際連携をさらに強化促進させ、付加価値の高いモノづくり、コトづくりとサービスの開発向上や健全な市場の確保と拡充に向け、両地域共同で新産業の創出、活性化に努力してきた。

〔対象国・地域〕 韓国 江原道 原州市及び周辺地域の医療機器産業クラスター

〔国内の実施機関〕 公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構

〔韓国の実施機関〕 財団法人 原州医療機器テクノバレー

②事業の活動内容

(ア) 医療福祉機器共同開発 相互技術協力会議

〔日程〕 平成25年4月15日(月)～4月20日(土)

〔場所〕 (公財)郡山地域テクノポリス推進機構

〔参加者〕 (財)原州医療機器テクノバレー

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 技術コーディネーター

〔内容〕 RIA:平成25年度 地域間産業交流事業の実施内容の提案と進め方の協議と RIA 事業を基盤とした新プロジェクト構築調査「日韓共同医療機器開発プロジェクト」の推進についての協議及び関連機関・企業訪問

(イ)医療福祉機器共同開発 相互技術協力会議

- [開催日] 平成25年5月13日(月)～5月17日(金)
[場所] 韓国 江原道 原州市 (財)原州医療機器テクノバレー 他
[参加者] (公財)郡山地域テクノポリス推進機構 技術コーディネーター
(財)原州医療機器テクノバレー院長、企業支援本部長
[内容] RIA:平成25年度地域間産業交流事業の事業日程、担当業務の確認
原州医療機器産業クラスターの企業訪問と技術協力協定締結企業への
フォローアップ業務並びに技術マッチングに関する協議

(ウ)原州医療機器産業クラスター成果発表会

- [開催日] 平成25年7月24日(水)～7月26日(金)
[会場] ビッグパレットふくしま会議室
[参加者] (財)原州医療機器テクノバレーと発表企業2社[Hyun Medics、Seawon]のほか、医療・福祉機器等関連新事業創出研究会の会員など65名
[内容] 「第1回 医療・福祉機器等関連新事業創出研究会」と合同で開催した。
・テーマ 韓国 江原道 原州より医療機器産業関係者を迎えての「韓国の医療機器産業の動向と日韓共同医療機器開発プロジェクトの推進」、「開発に挑戦する医療機器と日本よりの協力」ほか、マッチング商談実施。

(エ)「江原医療機器展示会 GMES2013」への参加及び関連機関の視察

- [期間] 平成25年9月3日(火)～9月8日(日)
[場所等] 韓国 江原道 原州市 「江原医療機器展示会 GMES2013」会場
医療機器総合支援センター(MCC: Medical Device Complex Center)の竣工式参加。原州医療機器産業クラスターの企業、企業都市(MediPolis)訪問 ほか
[参加者] 福島県商工労働部、(公財)郡山地域テクノポリス推進機構、アライアンス形成会議、出展企業:4社[テレジャパン、ひさき設計、東鋼、エスク、]、日本大学工学部長尾研究室
[内容] 医療関連製品の展示と相互技術協力の推進及び商談

(オ)「メディカルクリエーションふくしま2013」への出展・セミナーへの参加等

- [開催日] 平成25年10月30日(水)～10月31日(木)
[会場] 「メディカルクリエーションふくしま2013」ビッグパレットふくしま
[内容] 当財団で「韓国原州医療機器産業クラスター館」ブースを設け、韓国側より(財)原州医療機器テクノバレー及び企業3社[N Care、Taeyeon Medical、Hyun Medics]の出展と日本企業との相互技術協力と商談促進

(カ)医療福祉機器共同開発 相互技術協力会議

- [日程] 平成25年12月8日(日)～12月13日(金)
[場所] 韓国 江原道 原州市 (財)原州医療機器テクノバレーと「企業都市」開発地 他
[参加者] (公財)郡山地域テクノポリス推進機構 技術コーディネーター
(財)原州医療機器テクノバレー 院長、企画室長、企業支援室長以下4名
[内容] (財)原州医療機器テクノバレーとの平成25年度の事業実施内容についてのレビュー、次年度(平成26年度)事業実施の展望と日程及び原州側事業推進者の確認。

(キ)医療福祉機器共同開発 相互技術協力会議

〔日 程〕 平成26年2月23日(日)～2月28日(金)

〔場 所〕 韓国 江原道 原州市 (財)原州医療機器テクノバレーと「企業都市」開発地 他

〔参加者〕 (公財)郡山地域テクノポリス推進機構 技術コーディネーター、企画管理課長
江原発展研究院、(財)原州医療機器テクノバレー 院長、企画室長等々

〔内 容〕 ・(財)原州医療機器テクノバレーとの次年度(平成26年度)事業実施に係る具体的協議並びに確認。

3. 地域技術起業化支援・助成事業

(1) 新技術・新製品市場開拓支援事業

新技術、新製品の市場開拓や販路拡大につなげることを目的とする産業見本市等への出展や市場等の調査、テストマーケティング、アドバイザーの活用など戦略的マーケティングに要する経費の一部を助成。

① 産業見本市等出展支援事業

(平成25年度支援決定件数 0件)

(2) 地域技術起業化助成事業

研究段階を終え、起業化の可能性が高まった地域技術を応用可能な段階へと成熟させ、製品化・商品化するため、商品・デザイン開発・情報収集、市場開拓などの事業に要する経費の一部を助成。

○第1回公募期間 平成25年4月1日から5月31日(金)まで

○第2回公募期間 平成25年10月1日から11月29日(金)まで

第1回の公募期間に地域技術起業化助成金の申請が1件あり、外部審査委員による技術等審査委員会を開催し審査した結果、不採択となった。

(平成25年度助成決定件数 0件)

【広報活動事業】

1. 広報誌「サザンクロス」等による広報

広報誌を圏域内企業、関係行政機関、商工団体、研究会会員などに配布。また、毎月、「インキュベーション」だよりを発行し、事業周知を図った。

2. ホームページの開設

インターネット・ホームページ「テクノビジネス情報」により、テクノポリスの事業概要をはじめ、各種セミナー、研究会の開催案内・参加募集・開催報告、助成制度案件の募集など、企業に役立つ情報を提供。

3. メールマガジンの発行

会員企業等に各種セミナーや研究会の開催案内・参加募集・開催報告、その他事業等の実施報告、助成制度等の情報を提供するため、メールマガジンを月2回程度発行。

【理事会等の開催】

1.監査会

平成25年6月3日（月）
・平成24年度事業報告及び決算等

2.理事会

第1回 平成25年6月14日（金）
・平成24年度事業報告及び決算等
第2回 平成25年10月17日（木）
・評議員会の招集（決議の省略の方法による開催）
第3回 平成25年10月29日（火）
・常務理事の選定及び事務局長の承認等
第4回 平成25年11月19日（火）
・平成25年度補正予算の承認等（決議の省略の方法による開催）
第5回 平成26年3月24日（月）
・平成26年度事業計画及び当初予算の承認等

3.評議員会

第1回 平成25年5月10日（金）
・補充評議員3名、補充理事2名並びに補充監事1名の選任等
(決議の省略の方法による開催)
第2回（定時） 平成25年6月24日（月）
・平成24年度事業報告及び決算等
第3回 平成25年10月28日（月）
・補充評議員1名並びに補充理事1名の選任（決議の省略の方法による開催）
第4回 平成25年11月28日（木）
・一時借入れに伴う借入限度額の設定について

4.技術等審査委員会

第1回 平成25年7月29日（月）
・研究開発助成申請 1件

【事業報告の附属明細書の省略】

平成25年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成を省略する。